

令和3年度第1回 沖縄支部健康づくり推進協議会（福寿うちな～推進協議会）の概要報告

開催日時	令和3年8月26日 木曜日 15:00~17:00
会場	オンライン会議
出席委員	青木一雄委員、安里睦子委員、笠原寛子委員、金城明美委員、長嶺達也委員、比嘉貢委員、藤井雅士委員、盛本直也委員、山代寛委員（五十音順）
議題	<p>(1) 5者による働き盛り世代の健康づくりに関する協力連携について</p> <p>(2) コラボヘルスによる高血圧対策について</p> <p>(3) その他</p>
議事概要 (主な意見等)	<p>事務局より協議事項について説明。主な質問・意見等は以下のとおり。</p> <p>(1) 5者による働き盛り世代の健康づくりに関する協力連携について</p> <p>(学識経験者代表) 65歳までに亡くなってしまいう理由として、お酒やタバコなどはっきりしていることに対し、重点的に実施していったらどうかと思います。</p> <p>(事務局) 今5者における協力連携につきましても、仕組づくりをしている段階です。今後委員の先生方のご意見を5者の中でしっかり伝えていくことと、ある程度の同意がないと続けられないため同意が得られるよう、またお声が強いことなども併せてしっかり伝えていきたいと思っています。</p> <p>(事業主代表) 以前、協会けんぽから事業所カルテをいただき、受診率は100%と全員受診していますが医療費が高いことがわかり、工場勤務の社員もいることから、会社として何が原因なのかアンケート調査を実施しました。その結果、肩の痛みから整骨院へ通い医療費を使っている、医療機関から湿布などをもらっているということがわかったことから、工場勤務者については2時間以上同じ姿勢での作業をしないような仕組みづくりをしました。次に気になっていることとしては高血圧。職場での血圧測定を始めましたが、なぜ高血圧になってしまうのか、どのくらいの数字から高血圧といわれるのかなどのレクチャーをしてもらえたらと思っています、どこがどんなふうに関わっていただけるのか教えてほしいです。事業所としてできることを対応していきたいと思っており、ルームランナーとエアロバイクを購入し、いつでも使用できるようにしたが、就業中は使用しにくいという声があることとコロナ禍で毎日出勤している状況でもないため、少し落ち着いた頃に、1人15分ずつの計30分使用できるよう調整していきたいと考えています。企業の経営者がミッションとして従業員の健康管理をすすめていくことが大切だと思っていますが、このような取り組み方でよいですか？</p> <p>(議長) 企業のトップとして、従業員に浸透させていくことが非常に重要です。研修や教育について</p>

は、ぜひ、産業医にご相談いただくことや沖縄産業保健総合支援センターや協会けんぽなど相談しやすいところへ相談していただく具体的な方法もアドバイスいただけたらと思います。協会けんぽの特定保健指導では保健師や栄養士が訪問しているので、肩こりや腰痛などの予防策についても話をきいてみられるといいと思います。まずは、産業医に自社にあった改善策などをアドバイスいただけるよう相談されてみてはいかがでしょうか。

(事務局) 事業所カルテのリスクについては、健康課題の抽出と課題解決に向けた相談をさせていただくために活用できればと考えております。また、医療費につきましては、医療費の適正化という面からは医療費は低いほうがいいという考えはありますが、「高ければ問題」というものでもなく、健康の課題が解決され医療費が下がるということが理想です。単に高いから病院に行かないということにならないようお願いします。整骨院だけでは、大きく医療費は上がらないと思われませんが、多くの方が頻回に利用されているのでしょうか。

(事業主代表) 結構いますね。最近は高血圧の話聞く機会が多く、お酒かなあと考えています。

(事務局) 先ほど、委員の先生からお話がありましたが、(お酒やタバコなど) しっかり対策を立てて進めていきたいと思っております。また、委員の自己紹介の中で糖質 OFF のケーキをつくるというお話がありましたが。社会環境も変わっていかねば難しいと思っております。経済産業省(総合事務局)でおきな健康経営プラスワンという事業を行っており、オリオンビールさんやセルラーさんなどが健康づくりを社会に貢献しようと取り組まれています。ぜひ、健康経営を社会に広げていくところでもぜひ進めていただきたいと思います。

高血圧対策につきましては、事業所に血圧計を設置されているところも増えてきておりますが、きちんと測定されていなかったり、測定が続けられていないところもありますし、そもそもなぜ測定をしたほうがよいのかということも十分にご理解いただけていないこともありまして、ポピュレーションアプローチとして保健指導の場面で高血圧に関する質問の多い内容について発信していくということを考えております。また、せっかくの機会ですので、お時間を調整いただけるようでしたら、すぐにでもお伺い改めて高血圧対策に関して個別にお話しができればと思っております。高血圧対策は非常に重要な事業と考えており、先ほど委員の先生からお話のあったお酒やタバコが生活習慣の課題として関わっている方も多くいますので、関連付けて情報提供ができるように仕組みを作りたいと思っております。

(議長) 先ほど、健診受診率が 100%ということでしたが、被扶養者の受診率はどのくらいでしょうか。

(事業主代表) 被扶養者は 35.7%。そこそこ高いですかね。

(議長) そうですね。これからも従業員同様に 100%に近づけられるようにしていただけたらと思います。引き続きよろしく申し上げます。

(その他代表) 話をきいていて、事業主が理解を示し健康づくりに取り組むことが非常に重要だと思いました。事業所カルテは宣言事業所だけに提供されているものでしょうか。宣言登録前に事業所についてもアプローチのために使用されているのか教えてください。

(事務局) 基本的には宣言事業所へお送りしていることと特定保健指導などで事業所へ訪問する際にカルテの説明をし宣言の登録勧奨もしています。必ずしも宣言していなければならないというわけではありません。宣言をしていただき、長いお付き合いをさせていただきたいと考えています。事業所カルテにつきましては、単年度内容から3年経緯でご覧いただけるようバージョンアップを図っているところがございますので、ご期待ください。

(議長) 事業所カルテは評判がいいですね。いくつかの産業医をしている事業所でカルテをみせていただいたが、非常に参考になる資料だと思います。もっと健康経営宣言を広げていただき、事業所カルテを活用し、関係機関連携し健康づくりに役立てられるような事業もすすめていきたいと考えております。

(2) コラボヘルスによる高血圧対策について

(薬剤師会代表) コラボヘルスによる高血圧対策のポピュレーションアプローチとの関連ですが、薬剤師会ではコロナ前、県内商業施設にて(年間10回以上)健康とお薬相談会を実施してきました。血圧や体組成計の測定を実施し、メタボの方や血圧が高い方にアプローチを実施する機会があります。血圧が180や200の方もおり、病院にかかっていない方には受診をお勧めすることはできますがその先として受診にきちんとつなげるということが課題だと認識しています。好事例としては、久米島病院と連携し血圧や血糖値が高かった方は看護師へ繋ぎ、連絡先等も確認し電話による受診確認などもできたことから、薬剤師会としても薬局だけではなく活動の中で「みつけて、つなげる」という協力ができるものと思っております。

(行政代表) ポピュレーションアプローチとして、国保加入者向けに特定健診・特定保健指導を実施しており、特定保健指導も窓口に来所いただいておりますが、そこに繋がるまでがなかなか難しいこともあります。啓発事業は重要だと考えております。ポピュレーションアプローチとして考えられているDVDの内容はどのようなものかもう少し知りたかったのと、完成しましたらぜひ拝見したいと思います。また、事業所中心ということですが、市民に向けても発信してはどうかと思いました。保健所ではコロナ対策として、SNS(LINE)を活用した動画を発信していますが、今回作成されるDVDもSNSなどを活用して発信される計画があればお聞かせください。

(事務局) 今年度につきましては、YouTubeなどを活用した配信ではなくまずはDVDを作成するということで考えております。1つのテーマごとに5~10分程度内容とし、休憩時間などを利用しながら観ていただくことも想定しながら、準備をすすめているところです。YouTube配信についても話題として挙がっており、多くの方に気軽に観ていただけるものを基本に考えていきたいと思っております。

(議長) 行政代表の委員からお話があったように、ぜひ前向きに検討いただければと思います。著作権なども問題もあると思いますので、大変だと思いますが、ぜひ調整をしていただいて、関係機関からも啓発していただけることなると思います。よろしく願いいたします。

(3) その他

(行政代表) 協会けんぽ保健師さんの保健所支援、大変助かっております。ありがとうございます。昨年度も派遣をしていただき、今年度も 8 月末までとなっており、本当に感謝申し上げます。このところ非常に感染が拡大しており那覇市保健所でも日々 200 件余りの発生届が届いております。市役所本庁から応援の職員を調整し 90 名余りの体制で対応しているところですが、それでも 200 件を超える発生届ではなかなか片づけることができません。日々積み残しがあり、陽性者への連絡が 1 日遅れ、2 日遅れとなっています。そのような状況のため、保健所支援には本当に感謝しています。那覇市保健所としては今後も精いっぱい頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

(議長) ありがとうございます。

他、全体を通して、何かご発言があればお願いいたします。

(事務局) 追加で少し話をさせてください。先ほど、事業所カルテに基づきその後の対応をどうしたらよいかというお話の中で、産業医の先生に相談することができていました。事業所として、どこに相談をしたらよいかわからないことも結構あると思います。今、医師会さんと話を少し始めたところではありますが、産業医の先生方と協会けんぽ保健師のある程度のすみ分けであったり、流れを整理したいと思っており、1 本の流れの中で関わられたほうが事業所にとってもやりやすいでしょうし効果も出やすいと思っております。少し時間はかかるかもしれませんが、先生方のお考えをいただきながら作りたいと考えております。宜しくお願いします。

(議長) 他に、ご発言ありませんか。

(行政代表) 5 者協定の県での窓口が健康長寿課でありますので、今まさしく、けんぽさんと一緒になって具体的な中身について、お互い検討をしながらすすめていきたいと考えているところです。手始めに、県では、健康経営として健康経営アドバイザーを企業へ派遣し、企業の課題を一緒に考え計画をつくり、課題解決のための実践をしていきますので、けんぽさんとも協力して取り組んでまいりますので、今後この会議の場でも 5 者協定の取組みの状況も合わせて報告させていただきたいと思えます。引き続き宜しくお願いいたします。

(議長) 課長のご支援を心強く思っております。課長の後ろに健康経営のポスターは貼られています、とてもいいですね。今後とも宜しくお願いいたします。

(被保険者代表) 弊社では、社員の半分が現場勤務のため、その方々をどういう風に健康のプロジェクトに参加してもらうかが課題となっています。

(議長) 社内で何か取り組まれていることや他の企業とは違う取り組みがあればご紹介いただけるとありがたいです。

(被保険者代表) 社員に歩数計を配布しており、個人で記録、2か月に1度表彰をしています。また各部に血圧計を置いていますが、活用できていない状況です。活用に向けてどうすすめていくかということと、歩数報告についても決まった職員(4分の1の職員)が報告をしていて、4分の3の職員があまり参加できていない状況のため、参加していない職員を引っ張っていくことに苦労しています。

(議長) ありがとうございます。その内容につきましても産業医の先生をはじめ、外部支援を含めてご相談されると具体的な取り組みにつながるかもしれません。ご検討いただければと思います。

(被保険者代表) 取り組みがわかり有意義でした。弊社は健康優良法人ブライト 500 の認定を受けました。2020年より全社員が非喫煙者になり、これまでの取組が認められたと思っております。会社として、健康推進本部の役割を明確にし健康経営推進室をおき、推進室の女性管理者が役割を發揮していると思います。まだ、取組みを始められていない会社さんに向けて、ビジネスモデルのような好事例について共感を生むようなやり方で浸透していけば皆さんが健康になっていくのではないかと思います。

(議長) 素晴らしいお話を聴かせていただきありがとうございます。喫煙者ゼロに結び付けた取組みが何かありますか。

(被保険者代表) まず、目標としていつまでに達成するか期限を決めました。3~4年前から取組みをはじめ、しつこいぐらい禁煙に関する講習をうけさせ、いつまでに止めますという誓約書も書いてもらいました。また、以前この会議でもお話をしましたが、段階的に進めてきたことのひとつとして、アイコスの支給をしました。(有害ということはわかっているが、紙たばこよりはいいという観点から)

(学識経験者) アイコスを経由して全面禁煙ができるのはすごいと思います。実際にはアイコスを使いながら紙たばこも併用している人が多いこともありますし、禁煙を一生懸命にやっている人からすると、アイコスとんでもないと思ってしまうが、このような過程もあるということがわかり勉強になりました。

(議長) 結果として、喫煙者がゼロになったことは非常に素晴らしいことで、私もそういう過程を経て禁煙ができるということを受けとめております。

5者協定につきましては、けんぽさんと労働局さんが親密に調整していただき、行政や組織は縦割り

だが、今回は 5 者によって働き盛りの健康づくりに関する協定が結ばれたことに感謝しております。事業展開イメージもご提示いただき、保険者を超えた取り組みなど横断的に幅広く展開することもご提示いただきました。私どもも協力できることがあればこれからもしていきたいと思っております。それから、各事業所への展開イメージとして、健診の実施と結果の把握、保健指導の実施など健康づくりの基本支援と重点対策として、受動喫煙防止や節酒対策、高血圧対策など関係機関とも連携をしながら 5 者協定に基づきやっていこうというところを表していただきました。事業所の取組など外部発信、協会けんぽさんで作成された媒体なども広く啓発するために SNS 発信などもご検討いただき関係機関にお知らせいただければ、私たちも活用していけるのではないかと思います。期待しております。さらに、国保・協会けんぽ合同による健診結果説明会、健康経営セミナーの開催・参加案内など、縦割りでなく横の連携をもってやっていただくのが、県民全体、あるいはもっと広く言うと世界に生きている人々にためになるんじゃないかと思っています。玉城部長からお話があったとおり、健診もそうですが、何でもやりっぱなしはだめですので、PDCA を廻して新たな計画を立てて実施して評価をして、改善をしてそれを踏まえて計画をたててということで、これは何に対しても言えます。ぜひ、やりっぱなしではなく、PDCA を廻していただけたらと思います。

特 記 事 項	
---------	--

- ・次回開催予定：令和 4 年 2 月